

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 937 号	氏名	赤星 真奈
学位審査委員	主査 酒井 英樹 副査 永安 武 副査 小澤 寛樹		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 生体肝移植後患者のグラフト生着率および生存率の向上に伴い、患者ケアの面で quality of life (QOL) の重要性が増している。本研究は、健康関連QOLに密接に関連している睡眠障害を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 生体肝移植後患者を対象として、むずむず脚症候群質問票、ピッツバーグ睡眠質問票、エプワース睡眠尺度表ならびに健康関連QOL質問票 (SF-36) を用いて、睡眠とQOLを評価するとともに、血液検査値および精神神経機能検査所見を含めて、生体肝移植後患者のQOLと睡眠障害の変化を解析したものであり、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、生体肝移植後患者の約3分の2に睡眠障害が認められ、睡眠障害のある患者は健康関連QOLが低く、むずむず脚症候群と潜在性肝性脳症が睡眠障害の主たる原因であることが明らかとなった。生体肝移植後患者において、睡眠障害治療が健康関連QOLの改善に寄与する可能性が示唆された点は高く評価される。</p> <p>以上のように本論文は生体肝移植後患者のQOL研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			